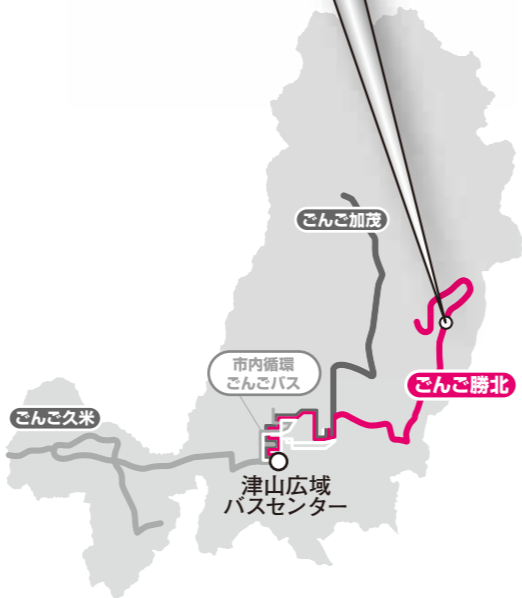




横仙と四季を映し出す県下一のため池

～塩手池（市場）～



バス停から東方向へ道なりに約600m進み、植栽で「しおでいけ」と書かれた堤の坂を登り切ると「つつみの広場」に到着します。

塩手池は、貯水量145万トンと県下最大で、周囲が4キロもあるかんがい用ため池です。津山藩主森長継の時代（1634～1674年）から改修を重ねて、この地域の水田を干害から守ってきました。

仙が連なった「横仙」が目の前に広がります。そして条件が良ければ、逆さになった横仙を水面に見ることが出来ます。

春は新緑、夏は花火、秋は紅葉、そして冬は雪と、四季折々の景色を楽しめます。特に夏の水中花火は、水面ざりざりのところで咲いた花火が水面に映し出され、まるで万華鏡のように幻想的。ほかではなかなか見ることができません。この花

火を見ることのできる「サマーフェスティバルIN塩手」（8月12日(火)午後6時～、9ページに関連記事あり）は、毎年市内外から多くの人でにぎわいます。堤防沿いにほんぼりが灯され「つつみの広場」には露店が並びます。

水面を渡る風を受けながら、水中花火を見て、ほかでは味わうことのできない夏の一夜を楽しみませんか。問い合わせ先 勝北支所産業課 32・7024



- 特集1 生涯学習……………3
- 特集2 津山の夏を楽しもう……………6
- 市政だより……………10
 - グリーンヒルズ津山
 - 障害福祉サービスの利用者負担の軽減措置
 - 後期高齢者医療（長寿医療）保険料通知書 ほか

- 【まちかど写真館】……………16
 - 親子エコフェスタ2008グリーンカーテン講習会 ほか
- 【ごんごクラブ】……………18
 - 未来をひっぱる津山人
 - わたしのおすすめ
- 【けいじばん】……………21
- 【くらし】……………26
- 【洋学博覧漫筆】……………28
 - ～玄隨の2枚の肖像画～